

血液・腫瘍科

専属医師8名（常勤医師5名、専属レジデント3名）に小児内科系レジデント1名がローテート方式で加わる体制で、小児がんを中心とした難治性血液・腫瘍疾患の診断・治療、特に造血幹細胞移植に力を注いでいる。日本骨髄バンクおよび提携海外骨髄バンクの移植・採取指定病院、臍帯血バンクの移植指定病院として全国から症例を受け入れている。年間移植数、総移植数ともに小児領域で全国1位である。難治疾患に対する新しい治療法開発を目的とした臨床試験にも積極的に取り組んでいる。

診療概要

1. 外 来

初診患者数は209名、再診実患者数は917名で、おおむね例年どおりである（表1）。初診患者の年齢分布は、15歳未満のいわゆる小児科対象年齢の患者数が168名（80.4%）と多数を占める一方で、18歳以上が29名（13.9%）と相当数含まれており、思春期・若年成人（adolescent and young adult：AYA世代）が年々増加する傾向を反映している。外来通院継続中に小児慢性特定疾患研究事業の対象となる年齢を越える患者数が着実に増加している。

また、他施設で受療中の症例からのセカンドオピニオン依頼に積極的に対応しており、2013年のセカンドオピニオンは19件であった。

2. 小児がん診療実績

新規診断症例の内訳を表2に示す。急性リンパ性白血

病8例を筆頭に造血器腫瘍疾患29例、固形腫瘍16例、計45例と例年同様の傾向を示した。慢性活動性EBウイルス感染症に代表されるEBウイルス関連リンパ増殖症の診療実績は、内科・小児科併せて、全国1位である。

3. 造血幹細胞移植例

2013年の造血幹細胞移植は33例（自家移植1例、同種移植32例）で例年通りである。その内訳は表3のとおり、血液疾患、固形腫瘍、免疫不全症と多様な疾患を対象に移植を行っている。EBウイルス関連リンパ増殖症に対する年間移植数9例は内科・小児科併せて、全国1位である。最近の同種移植数の推移を図1、2に示した。血縁、非血縁、骨髄、末梢血、臍帯血のいずれに偏ることなく移植を行っている。最近5年間、同種移植全例に対して骨髄非破壊的前処置（reduced intensity conditioning: RIC）を用いる移植を行った（図2）。RICは、従来型の前処置である骨髄破壊的前処置による合併症を軽減することが期待される前処置法で、移植後の成長障害や不妊を回避できることが明らかになりつつある。当科は全国に先駆けて導入し、その実績は世界的にも上位に位置している。また、再発例や非寛解例など難治症例を対象とする親からのHLA半合致移植を14例に実施した。1991年オープン以来2013年末までの移植（自家、同種）総数は847回である。

（文責 井上雅美）

重要な活動量指標・成績指標など

指 標	数 値	全国の先進施設の(指定)数値 文献に基づくこと
造血幹細胞移植症例数	33例	20-30例
骨髄非破壊的前処置による移植（RIST）数	32例	10例未満

表1. 年齢層別外来・入院患者数

年齢区分	初診患者数	再診患者数	退院患者数
～ 28 日 未 満	3	4	12
～ 1 歳 未 満	29	119	149
～ 6 歳 未 満	65	1078	98
～ 12 歳 未 満	48	1082	81
～ 15 歳 未 満	23	525	39
～ 18 歳 未 満	12	283	42
18 歳 以 上	29	614	0
合 計	209	3,705	421

(実患者数 917)

表2. がん・がん類縁疾患 新規診断症例数 (2013年)

小児がん学会分類	病名・組織型	症例数
造血器腫瘍		29
ALL	急性リンパ性白血病	8
AML	急性骨髄性白血病	4
MDS	骨髄異形成症候群	3
Non Hodgkin Lymphoma	非ホジキンリンパ腫	4
その他のリンパ増殖性疾患	EBウイルス関連リンパ増殖症	6
組織球症	血球貪食リンパ組織球症	1
	ランゲルハンス細胞組織球症	2
Down症TAM	Down症TAM	1
固形腫瘍		16
神経芽腫群腫瘍	神経芽腫	2
網膜芽腫	網膜芽細胞腫	1
肝腫瘍	肝芽腫	1
骨腫瘍	Ewing肉腫/原始神経外胚葉性腫瘍群	1
軟部腫瘍	Ewing肉腫/原始神経外胚葉性腫瘍群	1
	横紋筋肉腫	2
胚細胞腫瘍 (脳腫瘍を除く)	成熟奇形腫	3
脳・脊髄腫瘍	星細胞腫	1
	毛様細胞性星細胞腫	1
	グリオーマ	1
	胚腫	1
その他	甲状腺乳頭癌	1
計		45

※2013年に母子センターで初発腫瘍に対して初回治療を行った患者を集計した。

※小児血液・がん学会の分類にて集計した。

表3. 造血幹細胞移植疾患内訳 (2013年)

疾 患	移植数
急性骨髄性白血病	6
急性リンパ性白血病	8
若年性骨髄単球性白血病	2
骨髄異形性症候群	5
脳腫瘍	1
悪性リンパ腫	1
EBV関連リンパ増殖症	9
免疫不全	1
計	33

※自家骨髄移植の1例 (脳腫瘍) を含む

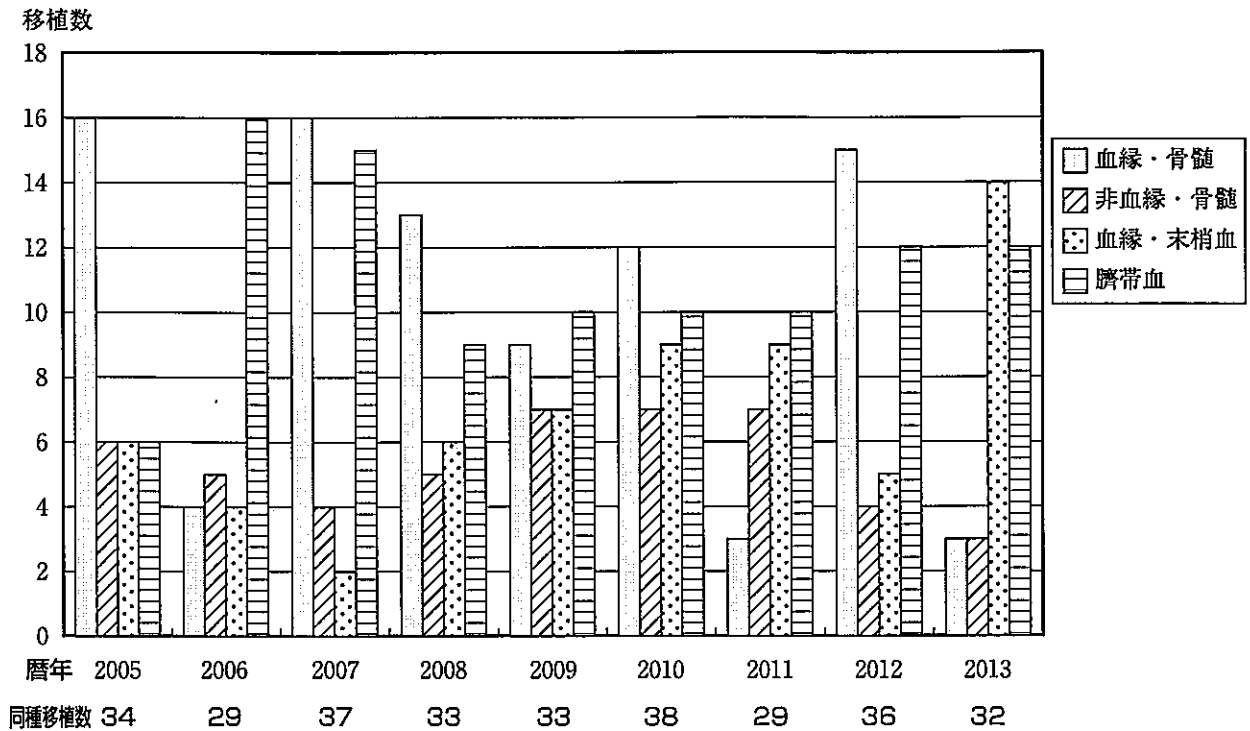


図1. 同種造血幹細胞移植：移植細胞種類別推移（最近9年間）

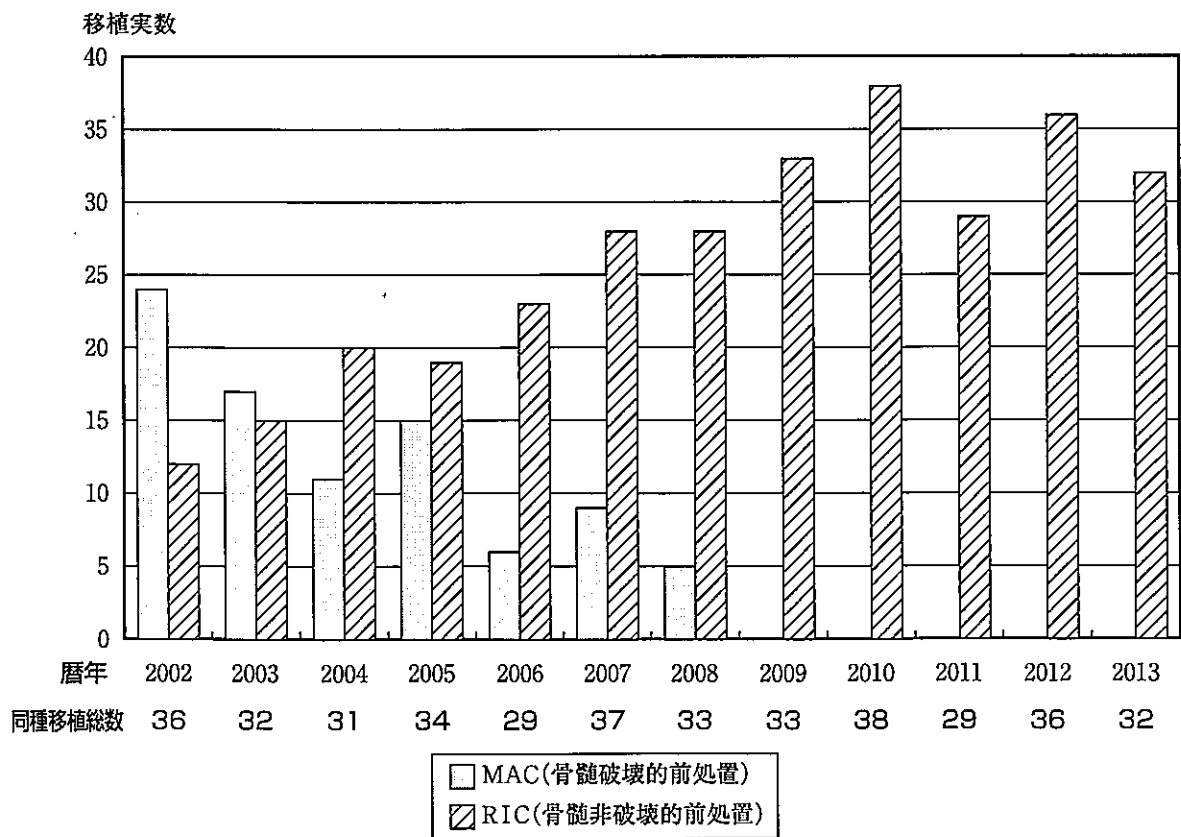


図2. 同種造血幹細胞移植：前処置別推移（最近12年間）